

5. 将来ビジョンの内容

みやこ町犀川地域活性化協議会 将来ビジョン

1. 目標とする将来像

ベテラン農業者の技術と若手農業者のアイデアで地域農業者にも都市住民にも魅力的な農業地域の創出

2. 施策の方向性及び具体的取り組み

柱	項目	施策の方向性			具体的な取り組み			
		内容	現状	目標	施策内容	具体的な実施内容 と直売所の役割	直売所の 機能	予算の確保
【農林業を守る】 農林業の効率的かつ 継続的な体制の 整備に関する事	地域農林業の 後継者確保	新規就農者（後継者）数	0人	（5年後） 5人	栽培技術向上研修会の開催 営農補完による新規就農者の募集	JA、普及センターの指導に基づき研修会を開催 ・ターゲット：就農希望者、地域農家等 ・直売所の役割：HPによる情報発信と参加者募集	①⑤	・直売所を拠点とした地域の元気づくり事業（県単） 窓口機関：みやこ町犀川地域活性化協議会
	農作業のサポート	農作業サポートの利用者数	0人/年	（5年後） 100人/年	農機具レンタルシステムの導入 農作業労力補完システムの導入	農地や農機具、住居の確保により新規就農者を募集 ・ターゲット：都市近郊の就農希望者 ・直売所の役割：HPによる情報発信 遊休農機等の活用により農機具レンタル制度を実施 ・ターゲット：地域農業者 ・直売所の役割：利用者の募集及び農機の管理 農作業ヘルパーにより営農支援を実施 ・ターゲット：地域農業者（特に高齢者） ・直売所の役割：利用者及びヘルパー募集	① ①	・直売所を拠点とした地域の元気づくり事業（県単） 窓口機関：みやこ町犀川地域活性化協議会 ・直売所を拠点とした地域の元気づくり事業（県単） 窓口機関：みやこ町犀川地域活性化協議会
【農林業者の所得 や雇用を増やす】 農林業を中心とした 地域産業による 所得や雇用を増やす 施策に関する事	農林産物の付加価値創出	6次化商品の品目数	7品目	1品目/年	激辛商品のシリーズ化と試食販売	ハバネロ柚子胡椒など激辛商品のシリーズ化を実施 ・ターゲット：直売所来客者 ・直売所の役割：商品販売とHPによる情報発信	②⑤	・直売所を拠点とした地域の元気づくり事業（県単） ・直売所運営費 窓口機関：みやこ町犀川地域活性化協議会 よって四季屋館
	新たな地域特産品の品目数	0品目	1～2品目/年		新たな地域特産物の生産拡大	地域の特性に合った農産物や特産物の生産者を確保 ・直売所の役割：生産調整及びブランド化	③	・直売所を拠点とした地域の元気づくり事業（県単） ・直売所運営費 窓口機関：みやこ町犀川地域活性化協議会 よって四季屋館
農林産物の販路開拓	都市圏への出張販売回数	3回/年	5回/年		町外イベント等への出店	町外のイベント等へ出店し、地元農産物等のPR強化 直売所の役割：出張販売の運営、管理	②⑤	・直売所運営費 窓口機関：よって四季屋館
	地域資源を活用した産業（雇用）の創出	直営食堂（うどん店）のレジ通過者数	〇〇人/年	〇〇人/年	地元農産物の利用拡大	地元農産物を食堂の食材として利用 直売所の役割：食堂運営、情報発信	⑤⑥	・直売所運営費 窓口機関：よって四季屋館
【地域の人口を増やす】 地域集落の定住や 交流人口を増やす 施策に関する事	空き家を活用した定住者の確保	新たな定住者数	0人	（5年後） 5人	空き家を活用した住居の確保	定住希望者へ空き家バンクの情報提供 ・ターゲット：移住・定住希望者 ・直売所の役割：HPによる情報発信	⑤	・空き家バンク事業 窓口機関：町、よって四季屋館
	施設や景観等を活用した交流人口の拡大	体験ツアーの参加者数	50人/年	75人/年	農林業体験ツアーの実施	地域の農林業体験によるツアーの企画・実施 ・ターゲット：町内及び近隣都市部住民 直売所の役割：ツアー受付、HPによる情報発信	④⑤	・直売所を拠点とした地域の元気づくり事業（県単） ・直売所運営費 窓口機関：みやこ町犀川地域活性化協議会 よって四季屋館
農林産物の販路開拓	店頭イベントの開催回数	20回/年	30回/年		店頭イベントの開催	地元農産物や特産品等の試食販売会等の開催 ・ターゲット：直売所来客者 ・直売所の役割：イベントの実施、情報発信	⑤⑥	・直売所運営費 窓口機関：よって四季屋館
	協議会の開催	協議会開催数	3回/年	6回/年	定期的な協議会の開催	毎月の出荷協議会において活動報告等をおこなう		

※1…施策の方向性にある「柱」と「項目」に記載している内容は修正しないで下さい。「項目」に該当するものが無い場合は、その他欄に項目名を追加して下さい。

※2…施策の方向性にある「将来像」の「内容」及び具体的な取り組みの「施策内容」に記載がある取組みについては、極力記載して下さい。

※3…直売所の機能は、別紙「将来ビジョンに掲げる直売所の機能一覧表」より該当する機能の番号を選んで記載して下さい。

3. 実施計画

施策内容	具体的な取り組み	1年目 (平成27年度)		2年目 (平成28年度)		3年目 (平成29年度)		4年目 (平成30年度)		5年目 (平成31年度)		ポイント
		上期 (4~9月)	下期 (10~3月)	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
農林業の効率的かつ 継続的な体制の 整備に関する事	地域農林業の 後継者確保	栽培技術向上研修会の開催 ①② ①②		①② ①②		①② ①②		①② ①②		①② ①②		・多くの参加者を集める ・栽培技術や取り組みや品目の紹介
	営農補完による新規就農者の募集	①講習会の実施 ②新規就農者募集		①講習会の実施 ②新規就農者募集		①講習会の実施 ②新規就農者募集		①講習会の実施 ②新規就農者募集		①講習会の実施 ②新規就農者募集		
農作業のサ ポート	農機具レンタルシステムの導入	①②		①② ①②		①② ①②		①② ①②		①② ①②		・システムの情報発信が重要
	農作業労力補完システムの導入	①機械の購入 ②希望者へ貸出		①希望者へ貸出 ②ヘルパー派遣		①希望者へ貸出 ②ヘルパー派遣		①希望者へ貸出 ②ヘルパー派遣		①希望者へ貸出 ②ヘルパー派遣		
農林業を中心とした 地域産業による 所得や雇用を増やす 施策に関する事	農林産物の付加価値創出	② ①		② ①		② ①		② ①		② ①		・商品ラインナップの充実や レシピの提供などを行う
	新たな地域特産物の生産拡大	①商品の開発 ②苗の配布		①商品の開発 ②苗の配布		①商品の開発 ②苗の配布		①商品の開発 ②苗の配布		①商品の開発 ②苗の配布		
農林産物の販路開拓	町外イベント等への出店	イベントへ出店 (随時)		イベントへ出店 (随時)		イベントへ出店 (随時)		イベントへ出店 (随時)		イベントへ出店 (随時)		・積極的にイベントへ出向き、 みやこ町をPRすること
	地域資源を活用した産業（雇用）の創出	季節の農産物の利用 (随時)		季節の農産物の利用 (随時)		季節の農産物の利用 (随時)		季節の農産物の利用 (随時)		季節の農産物の利用 (随時)		
地域集落の定住や 交流人口を増やす 施策に関する事	空き家を活用した定住者の確保	情報発信		情報発信		情報発信		情報発信		情報発信		・魅力的な企画と情報発信が重要
	施設や景観等を活用した交流人口の拡大	① ②		① ②		① ②		① ②		① ②		
	農林業体験ツアーの実施	①ツアーの企画 ②ツアー実施		①ツアーの企画 ②ツアー実施		①ツアーの企画 ②ツアー実施		①ツアーの企画 ②ツアー実施		①ツアーの企画 ②ツアー実施		
	店頭イベントの開催	イベント開催		イベント開催		イベント開催		イベント開催		イベント開催		

※3…具体的な取り組みの「施策内容」は、「2. 施策の方向性及び具体的な取り組み」の施策内容をそのまま転記して下さい。

(参考) 現状の把握

地域の強み（よいところ）	地域の弱み（課題）
東九州自動車道の開通に伴い、北九州及び福岡市内へのアクセスが良好。鉄道による公的交通機関の利用も可能。 県内の他産地には、見られない中山間地の特性を生かした野菜品目（葉わさび、柳瀬こぼろ等）が栽培されている。 近隣からの直売所利用客が多い。	高齢者や後継者不足による離農が拡大。労働力不足による産地規模が縮小傾向。 直売所への野菜等の出荷量の減少などにより、訪れる客の需要に対する対応が不十分。 過疎化などによる人口減少のため、空き家などが増加している。